



平成21年度 会長

新年のご挨拶

蒲郡市社会福祉協議会会長

富田 忠 男

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日ごろは社会福祉協議会の活動につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

皆様方もご存知の通り、日本人の平均寿命は毎年少しずつ延びて人生 80 年の長寿の時代に入っており、男性が 79.2 歳、女性は 86.0 歳と世界一長寿であり、今後も高度医療の伸展等に伴い高齢化は進んでいくと思われれます。

蒲郡市における 65 歳以上の人口は 19,284 人で、昨年 9 月での高齢化率は 23.7%と、県下都市の中でも新城市、常滑市に次ぐ三番目の高さであります。

このため、私も社会福祉協議会といたしましては、高齢者に対する福祉施策を重要課題の一つとして掲げ、行政との連携を密にしながら、各種の事業展開を図ってまいります。介護保険事業では、要介護認定調査やケアプランの作成、指定事業者として居宅介護サービスを利用者の立場に立って提供するように努めてまいります。このほか在宅老人給食サービス事業を始め、独居老人の安否確認や交流会の開催、在宅福祉サービスふれあい蒲郡の事業などを引続き実施してまいります。また、元気なお年寄りの対策として、老人福祉センターでのふれあい入浴や憩いの場としての休養娯楽活動の推進、高齢者宅への慰問、高齢者レクリエーション大会を開催してまいりますし、各老人クラブへの活動助成も引続き実施してまいりますのでよろしくお願い致します。

人生の一番の幸せは健康であります。体の健康はもちろんのこと、心も健康でなければ楽しい生活はできません。老人クラブ連合会会員の皆様には今後とも健康には十分留意され、生きがいを持って活躍されることを祈念させていただきます。

なお、3月1日には各種福祉団体やボランティアの皆様方と手を携えて「第 26 回福祉まつり」を開催いたします。老人クラブ連合会の皆様方もボランティアとして、ご支援・ご協力をお願いするとともに、より多くの皆様方がこの「福祉まつり」にご参加いただけますようお願いいたしまして、新年の挨拶といたします。



新年のご挨拶

蒲郡市老人クラブ連合会会長

小林 英 生

明けましておめでとうございます。会員の皆様方には今年も幸多き年でありますようご祈念申しあげます。また常日頃の市老連の運営につきましてもご協力たまわり心から感謝いたします。

未熟な私ですが石田昭一氏の後任として大役をおおせつかり、役員の方々、社協、市等関係者のご指導ご支援によりまして、大過なく今日まで活動出来ましたことにつき紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。

さて市老連の役割として最近関係各位より期待されていることが三点ほどあります。

第一は新会員を増やしてほしい。昨今高齢者の交通事故が増加していますが、なかでも老人クラブに加入していない人が事故にあうケースが多いそうですので、少しでも交通事故を減らす一案として、新加入者を多く集めた老人クラブが蒲郡警察署から表彰されました。

第二は相互支援活動です。最近老人の一人暮らしや、老夫婦家庭が増えています。そういう家庭は引きこもりがちになり、運動不足などから病気にもなりやすいので、会員が問題のありそうな家庭を訪問したり、会合などに呼んだりして元気付けてあげることです。

第三は自分の健康は自分でまもる。今、蒲郡市民病院では医師不足で休診や診療の制限が出ています。そのためにもまず三度の食事はきちんと食べ、常日頃自分の健康に注意し、かかりつけのお医者さんを決めておくことがとても大事なことです。

以上三点を市老連の活動の中心として今年も元気に暮らせることを感謝しながら頑張りますので、ご協力お願いいたします。

